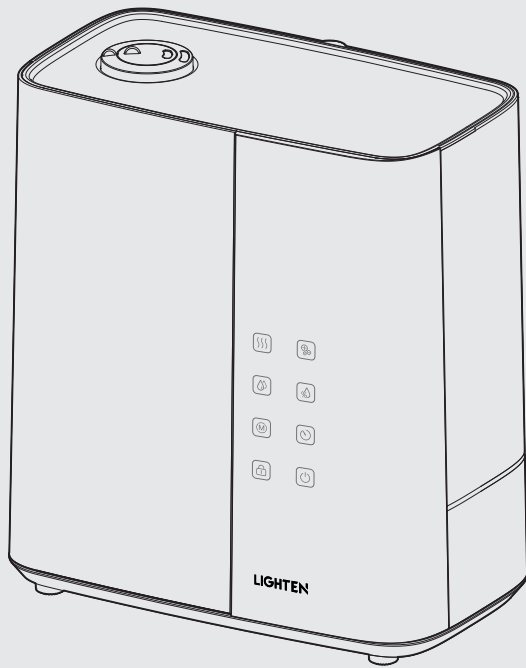


家庭用

ハイブリッド式加湿器

XR-HT52



目次

安全上のご注意	1~4
各部の名称	5~7
ご使用前の準備	8~9
使いかた	10~15
お手入れと保管	16~18
製品の仕様	18
故障かな?と思ったら	19~20
長期使用上のご注意	20
保証書	21

- このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
- 本製品を快適に、また安全にお使いいただくために、本書を良くお読みになり、正しくお使いください。
- また、本書は一度お読みになった後も、すぐ取り出せる場所に保管し、製品について不明な点があった場合は読み返してください。
- 本書は保証書を兼ねております。
- 保証書部分は本書から切り離さず、必ず本書と一緒に保管してください。
- この製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。
- 日本国内専用です。(FOR USE IN JAPAN ONLY)
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。
- 外観および仕様、本書の内容については改良のため予告なく変更することがあります。
- お客様のお買い上げ時期によっては、同一製品の中でも多少差が生じる場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。重要な内容ですので、よく理解して記載事項を必ずお守りください。
- 取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合の故障、破損並びに事故やけが、及びお客様の不注意による破損並びにけがに対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のある内容



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつく内容

図記号の説明



禁止事項を示します。



必ず行うことを示します。



ご注意を促す内容を示します。



警告

電源プラグ・電源コードは正しく使う



必ず守る

電源プラグのほこりは乾いた布で定期的に取り

→ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。



必ず守る

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

→ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

●お手入れや点検、移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

●使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜く

→感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差しをしない

→感電・やけど・けがの原因になります。



禁止

電源コードを束ねて使用しない

→過熱してやけどや火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。



禁止

交流100V以外では使わない

→火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

→電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない

→火災・感電の原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込がゆるいときは使わない

→ショートによる火災・感電の原因になります。



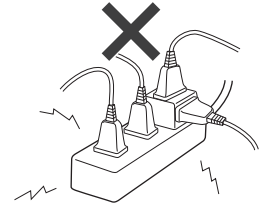
乳幼児に電源プラグをなめさせない

→けがや感電の原因になります。



コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない

→火災の原因になります。



●水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない

●本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない

→火災・感電の原因になります。



すき間などから指や金属などの異物を入れない

→感電やけがの原因になります。



屋外で使用しない

→故障して火災の原因になります。



●子どもなど取り扱いに不慣れな方だけで使わせない

●乳幼児に触れさせない

→けがや感電の原因になります。



分解・修理・改造をしない

→火災・感電の原因になります。

また、分解・改造などに起因する故障に関しましては、弊社では責任を負いかねます。



異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く

●異常な音やにおいがする

●電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる

●電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする

●運転中時々止まる

●触れるとピリピリ電気を感じる

→発煙・火災・感電のおそれがあります。

⚠ 注意



直射日光の当たる場所で使用しない

→変形・変色したり、誤動作することがあります。
また、水タンクの温度が上昇して水もれの原因になります。



●火気・暖房器具などの近くで使用しない ●可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない

→火災の原因になります。



ラジオやテレビに近づけない

→ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



スピーカーやIH調理器(電磁調理器)など磁気の出る機器の近くには置かない

→変形・変色したり、誤動作したりする場合があります。



設置するときは、カーテン・壁・家具などから、図に示す距離を離し、加湿された風が当たらないようにする

→家具や壁、カーテンなどの汚損の原因になります。
また、電気製品に結露したり、水のミネラル分が付着したりすると、電気製品の故障の原因になります。



水平で安定した床または台の上で使用する

→毛足の長いカーペットやふとんの上などに設置すると、転倒して周囲の汚損の原因になります。また、床ぬれのおそれがあるので必ず台の上に設置してください。
また、不安定な台や、高いところに設置すると、落下してけがや家財の破損の原因になります。



室温は5～35℃で使用する

→室温が低いと床ぬれや結露がおこりやすくなります。加湿量を切り替えたり、室温を上げたりして使用してください。
また、窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露を拭き取るなどして使用してください。



●乗ったり、寄りかかったりしない ●幼児の手の届く範囲で使用しない ●子どもに遊ばせない

→転倒によるけがの原因になります。



吸気口・吹出口をふさがない

→過熱による変形・故障・火災の原因になります。



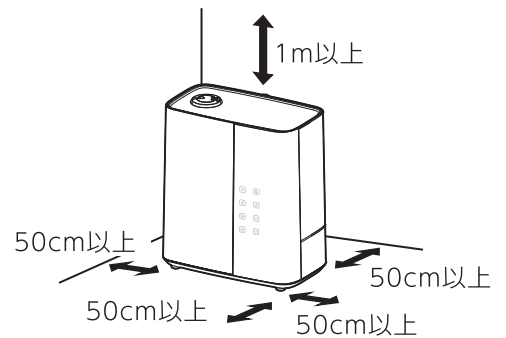
移動するときは、本体の底を持つ

→水タンクや本体上部を持つと、水タンクが外れて落下するおそれがあります。
また、水が入っているときは移動しないでください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

→電源コードが破損し、発火・感電の原因になります。



水タンクの水について



毎日新しいものに取り替える

→水タンクは毎日振り洗いし、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発したり健康を害する原因になります。



1週間以上使用しない場合は、必ず水タンク及び本体内の水を捨てる

→水が入ったまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。



凍結しそうなときは、水タンク及び本体内の水を捨てる

→凍結すると、故障・水もれにより周囲の汚損の原因になります。



水道水以外は使用しない

→40℃以上の水・汚れた水・化学薬品・芳香剤(アロマオイルなど)・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。



水タンクに水が入ったまま移動しない

→水タンク・加湿器内部に水が入った状態で移動すると、斜めになったときに水がもれて周囲の水ぬれの原因になります。移動するときは、水タンク・加湿器内部の水を捨ててください。

リモコンについて



リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる

→間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。



リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない

→間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。



リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない

→液もれや破裂・火災などの原因になります。



長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く

→長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。



リモコンを廃棄するときは、電池を抜く

→そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因になります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。



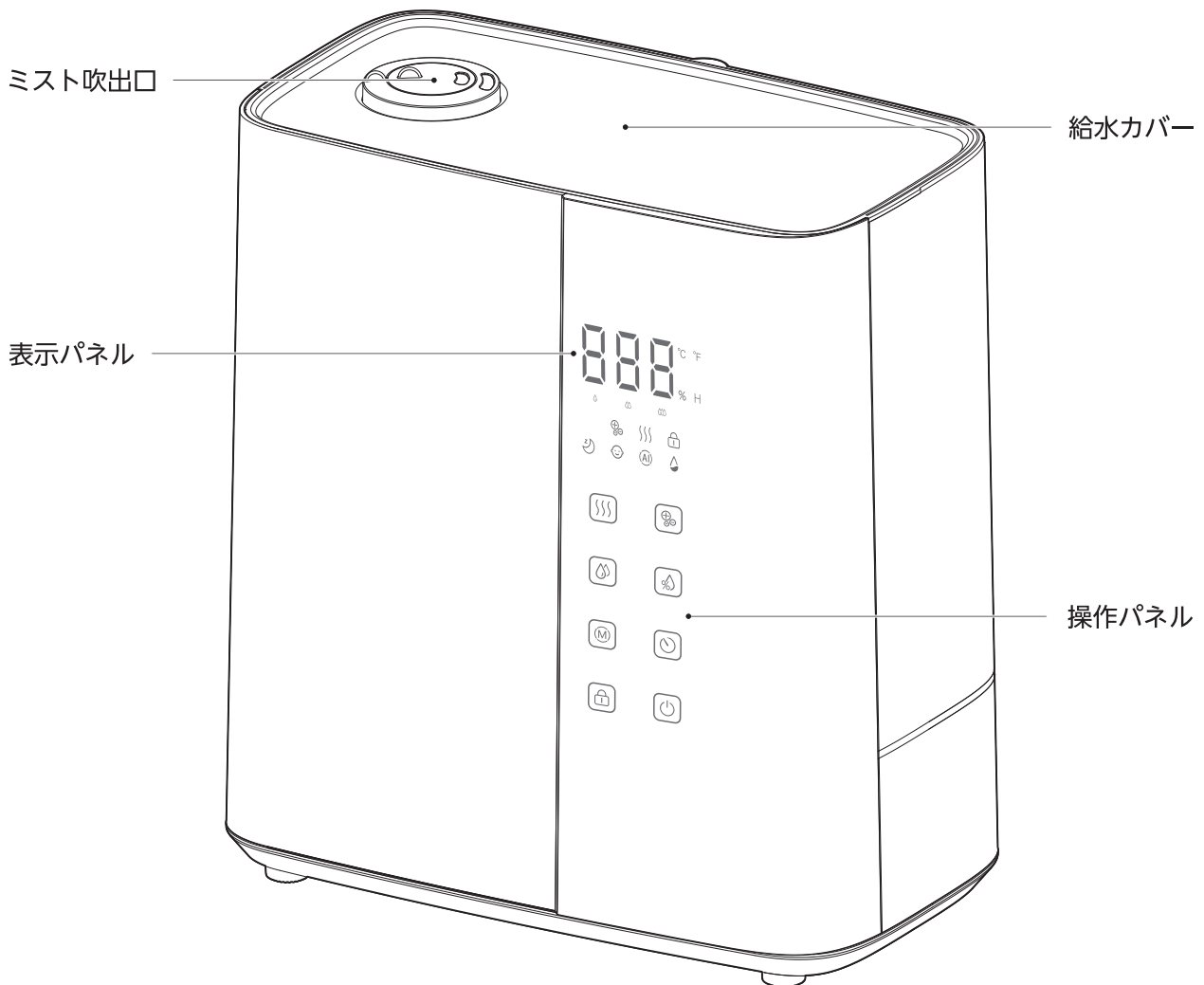
リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける

→失明や目に障害を負う恐れがあります。

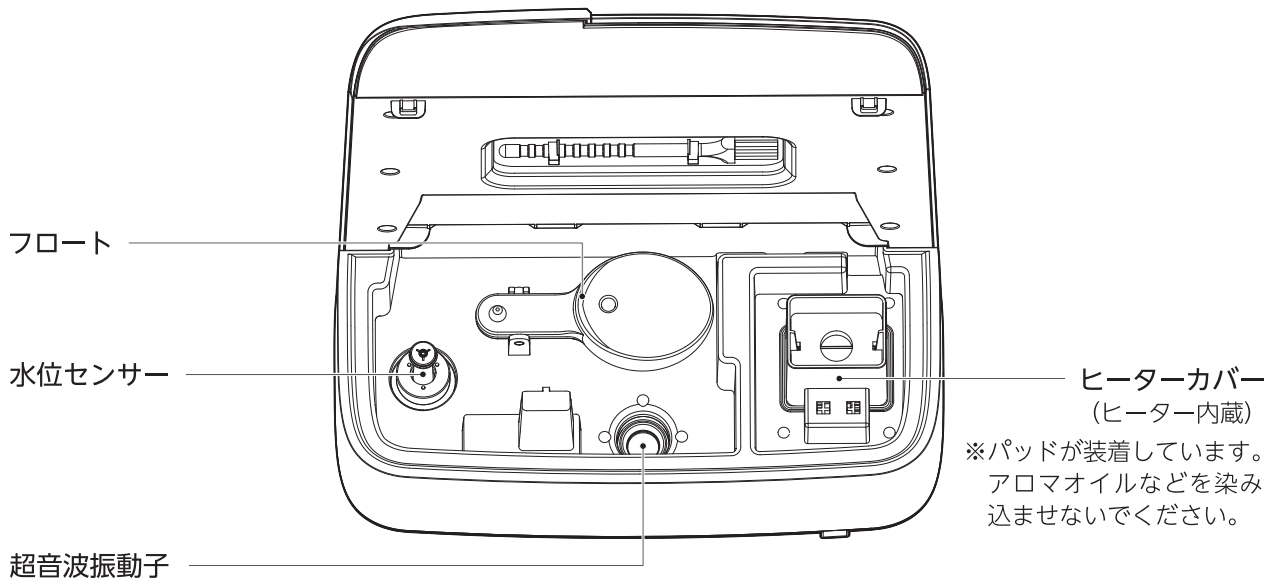
各部の名称

※イラストはイメージです。

正面



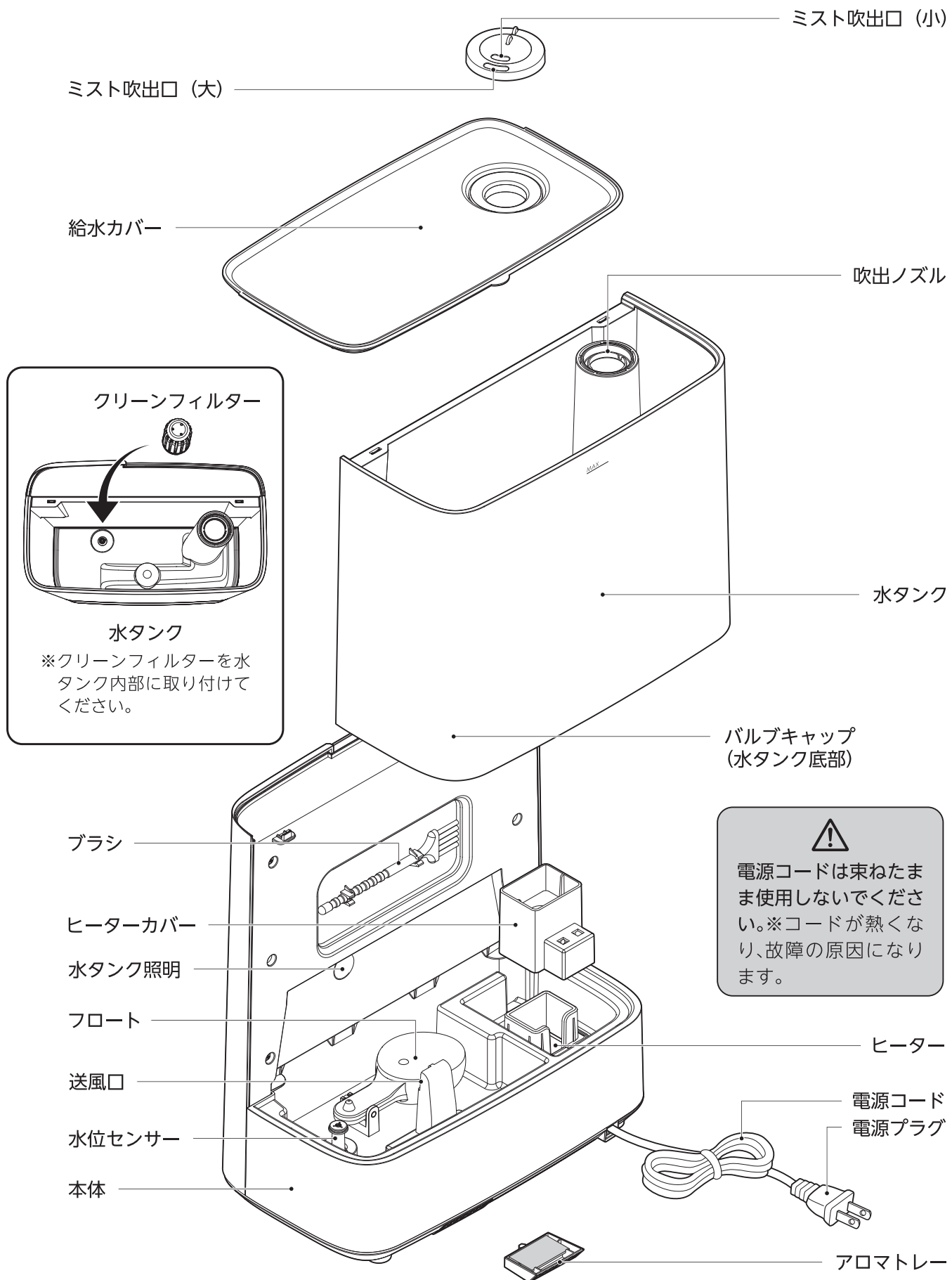
本体



各部の名称

※イラストはイメージです。

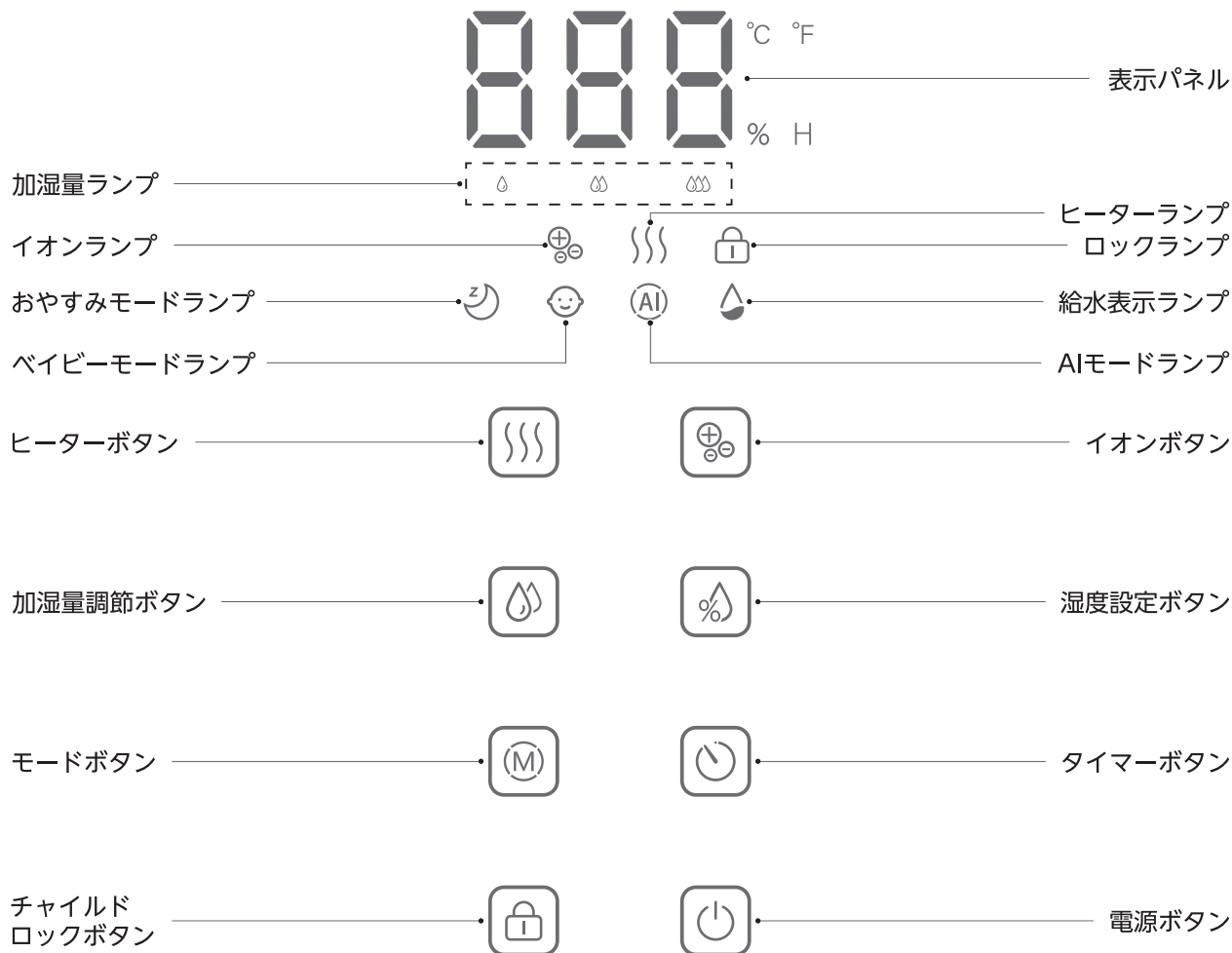
展開図



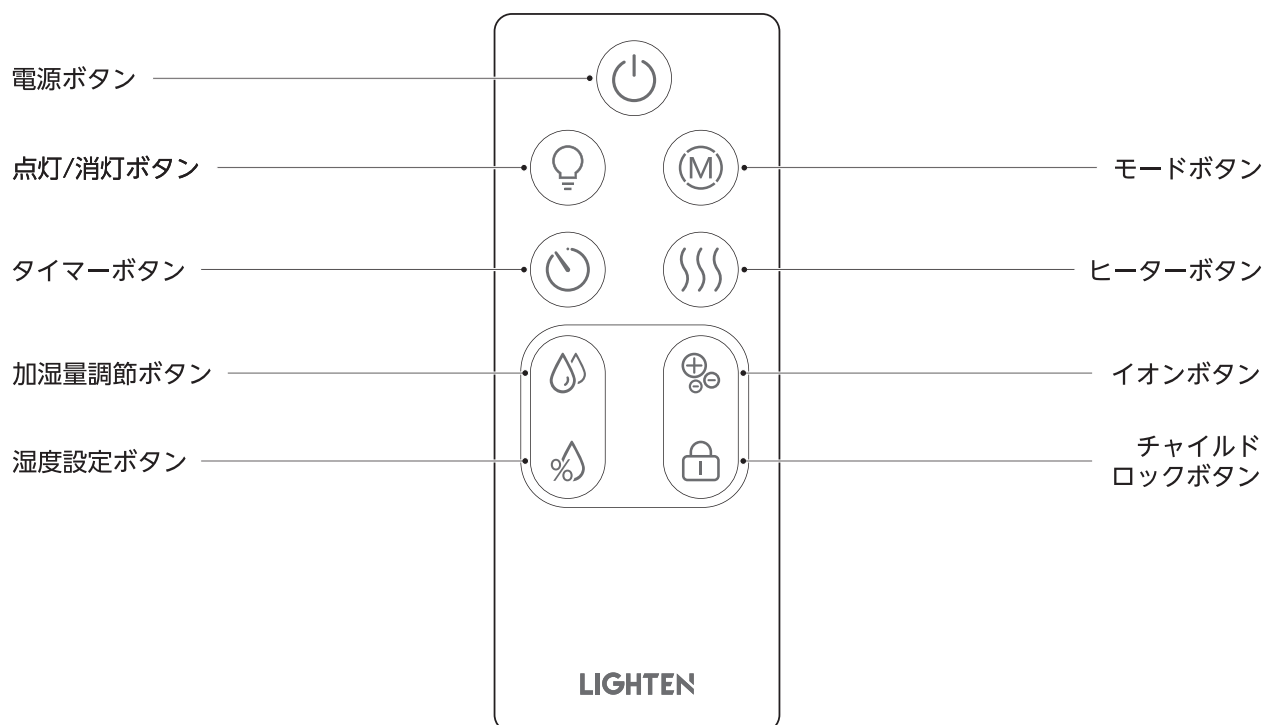
各部の名称

※イラストはイメージです。

操作パネル



リモコン



ご使用前の準備

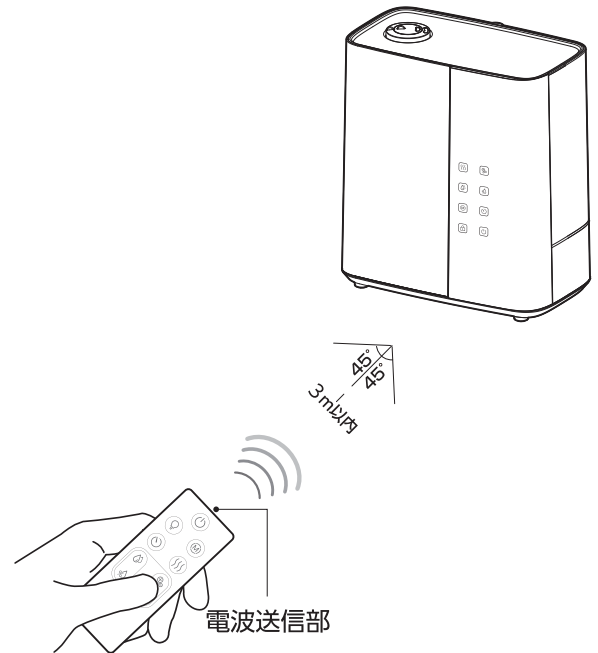
本製品をリモコンで操作する際、下記のような現象が発生する場合があります。

①他社電化製品のリモコンで、本製品が反応する。

②本製品のリモコンで、他社電化製品が反応する。

これはリモコン(赤外線)の周波数が、他社電化製品のリモコンの周波数と同期してしまうことで発生する現象で、製品機能上の問題ではありません。誤作動を避けるため、他社電化製品のリモコンが反応しない範囲(本体の向きと距離)でご使用ください。

- リモコンで操作する場合の操作ボタンは、本体の操作パネルのボタンと同じです。※10～14ページ参照
- リモコンを使って本体を操作する時は、リモコンの「電波送信部」を本体の「電波受信部」に向けて操作ボタンを押してください。※通常リモコンは製品の前面から3メートル以内で使用されます。
- 電池が消耗すると、リモコン操作ができる範囲が狭くなります。※その際は電池を交換してください。
- リモコンの電波送信部にキズをつけないでください。
- 次のような状況ではリモコンの操作ができないことがあります。
 - 本体受信部とリモコンの間に障害物がある
 - インバーター照明器具または電子瞬時点灯照明器具を使用している
 - 本体受信部に直射日光などの強い光があたる



本製品をリモコンで操作する際、下記のような現象が発生する場合があります。

リモコンを使用する前に、裏面の電池カバーを開けて付属のコイン形電池【CR2032】をセットしてください。付属のコイン形電池はお試し用のため、早めに新しい電池と交換することをおすすめします。

1 リモコン裏の電池カバーを開ける

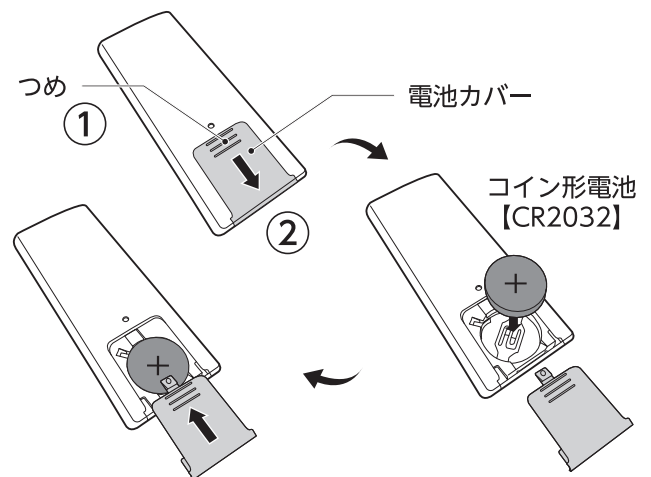
- ①つめを押さえながら、
- ②矢印の方向へスライドします。

2 付属のコイン形電池をセットする

※コイン形電池の⊕面を上にしてセットします。

3 電池カバーを閉める

※「カチッ」と音がするまで、確実に電池カバーを閉めてください。



長期間ご使用にならない場合は、コイン形電池を取り出しておいてください。

→電池が液漏れして故障の原因になります。

ご使用前の準備

水タンクに給水する

1 給水カバーを取り外す

2 水タンクに水を入れる

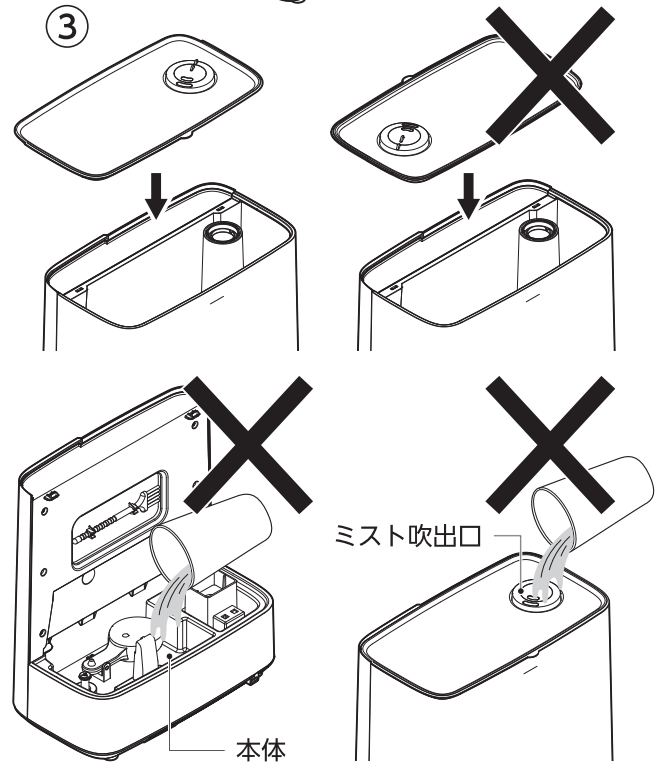
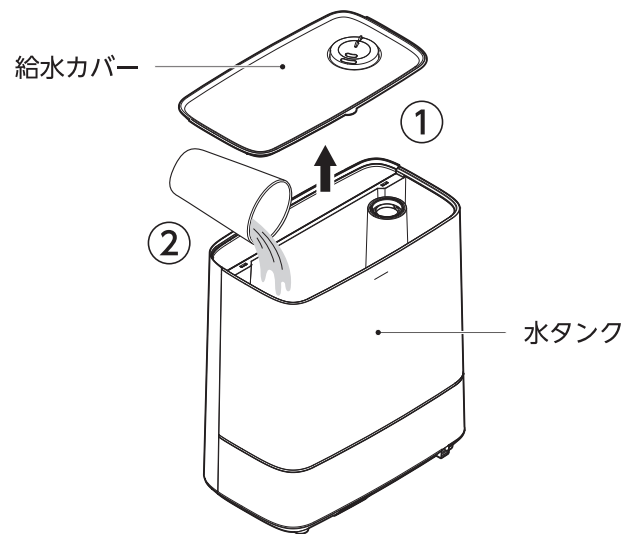
※水量を目盛りの「MAX」まで超えないようご注意ください。

※水タンクを持ち運ぶときは、水がこぼれて周囲を汚損することがないように、注意してください。

※水タンク外側についた水滴は拭き取ってください。

3 給水カバーをしっかりと取り付ける

※取り付ける際は、給水カバーの向きにご注意ください。



禁止

- 運転中に給水カバーを取りはずさないでください。
- ミスト吹出口や本体からの給水を絶対にしないでください。



必ず実施

- 必ず水道水を使用してください。
※40℃以上の水・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。
- 水に薬品・香料・精油などを入れないでください。※カビや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水ぬれや周囲の汚損の原因になります。
- 給水を運転中に追加する場合は、必ず電源を切って行ってください。

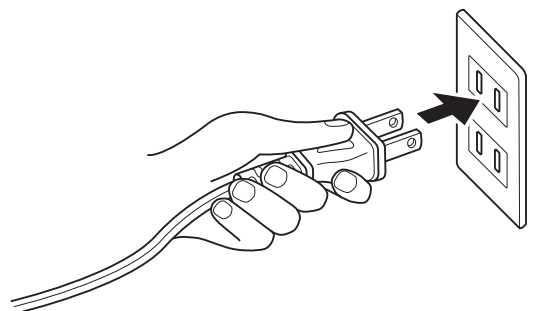
電源を接続する

■ 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグをコンセントに差し込んで、“ピッ”と鳴って、待機状態となります。

※濡れた手で操作しないでください。




※コンセントに電源プラグを確実に差し込んでください。

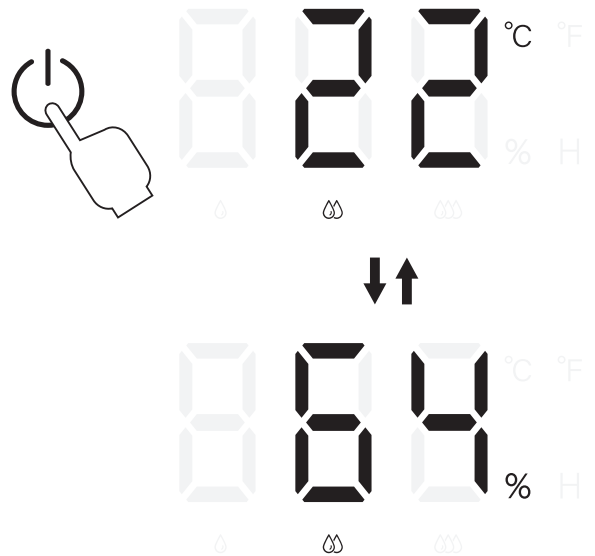


使いかた


運転を開始/停止する

■ 運転を開始する

- 本体またはリモコンの電源ボタン「」を押すと、加湿を開始します。
- ※表示パネルに現在の温度と湿度が表示されます。
- ※電源プラグをコンセントにつないで初めての運転では、通常モード・中加湿量「」で加湿を開始します。
- ※水タンク照明が点灯します。
- ※水タンクが空の場合、給水表示ランプ「」が点灯して、電源が入りません。




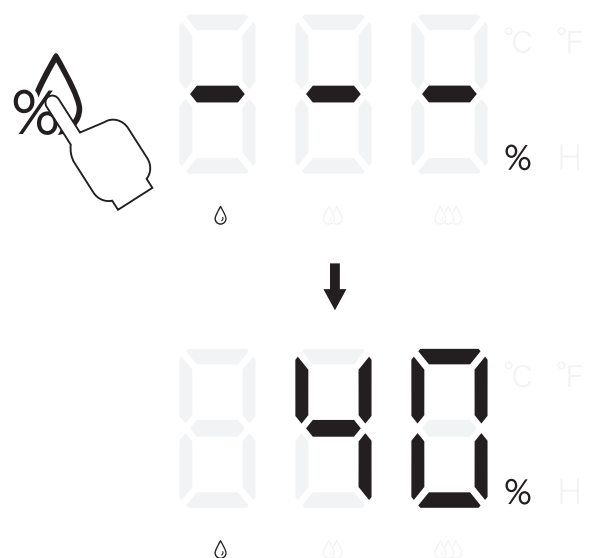
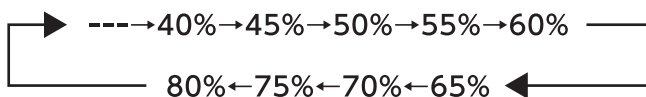
■ 加湿量を調節する

- 本体またはリモコンの加湿量調節ボタン「」ボタンを押して、加湿量を3段階に設定することができます。
- ※運転中に加湿量調節ボタンを押すごとに「中→弱→強→...」の順番で加湿量の調整を繰り返します。



■ 目標湿度を設定する

- 本体またはリモコンの湿度設定ボタン「」を押して、目標湿度を40%から80%まで設定することができます。
- 設定された湿度より約5%高くする場合は、加湿を自動停止します。設定された湿度より約5%低くする場合は、加湿を再開します。
- ※運転中に湿度設定ボタンを押すごとに「--- (設定なし) → 40% → 45% → 50% → 55% → 60% → 65% → 70% → 75% → 80% → ...」の順番で9つの異なる目標湿度の調整を繰り返します。



- ※運転中に湿度設定ボタンを押すと、設定された目標湿度が表示されます。再度押すと、目標湿度の調整を行います。

使いかた

■ 加湿モードを切り替える

- 本体またはリモコンのモードボタン「**(M)**」を押すと、4種類の加湿モードが切り替わります。

※ 運転中にモードボタンを押すごとに「AIモード→ベイベーモード→おやすみモード→通常モード→...」の順番で加湿モードが切り替わります。



「AIモード」

- 環境温度と湿度を検知し、適切な加湿量などに自動設定されます。イオン機能「**(+)**」が常時作動状態になります。

※ 目標湿度を自動的に「**55%**」に設定されます。

※ 環境湿度が「**45%**」より低くなる場合は、加湿量が「**(5)**」に調整されて目標湿度まで上昇します。環境湿度が「**45%**」以上「**55%**」以内の場合は、加湿量が「**(1)**」に調整されて目標湿度を維持します。

※ 環境温度が「**10℃**」より低くなる場合は、ヒーター機能「**(H)**」が作動されます。環境温度は「**13℃**」より高くなる場合は、ヒーター機能が停止されます。

「ベイベーモード」

- 環境湿度を検知し、適切な加湿量に自動設定されます。イオン機能「**(+)**」とヒーター機能「**(H)**」が常時停止状態になります。

※ 目標湿度を自動的に「**55%**」に設定されます。

※ 環境湿度が「**45%**」より低くなる場合は、加湿量が「**(5)**」に調整されて目標湿度まで上昇します。環境湿度が「**45%**」以上「**55%**」以内の場合は、加湿量が「**(1)**」に調整されて目標湿度を維持します。

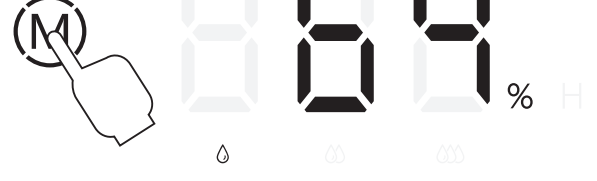
「おやすみモード」

- 弱加湿量「**(1)**」で加湿します。

※ 表示パネル、操作パネル、水タンク照明が消灯します。


※ 本製品の湿度表示は目安であり、市販の専用湿度計の計測と比べて多少誤差があります。

※ 空気の流れが良い場所と悪い場所では湿度表示が異なる場合があります。



使いかた

■ 運転を停止する

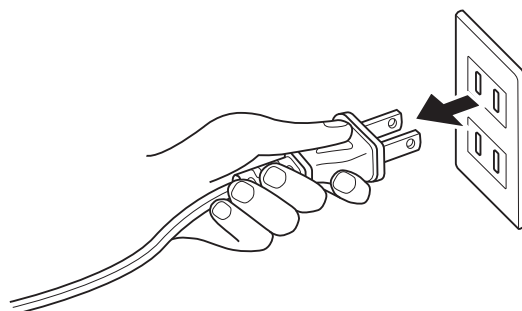
- 本体またはリモコンの電源ボタン「」を押すと加湿を停止します。

※長時間使用しないときは水タンクと本体内の水を捨ててください。(→16 ページ参照)







■ 電源プラグをコンセントから抜く

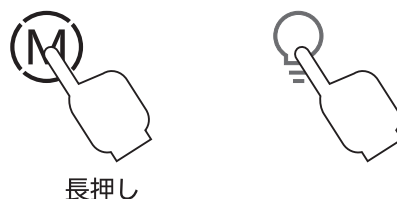
- 外出や本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。消し忘れが火災の原因になります。



水タンク照明機能

■ 水タンク照明を点灯 / 消灯する


- 運転に伴い、水タンク照明が点灯します。運転中に本体のモードボタン「」を約5秒間長押しする、またはリモコンの点灯 / 消灯ボタン「」を押すと、水タンク照明は消灯します。
- 再度モードボタン「」を長押しする、またはリモコンの点灯 / 消灯ボタン「」を押すと、水タンク照明は点灯します。



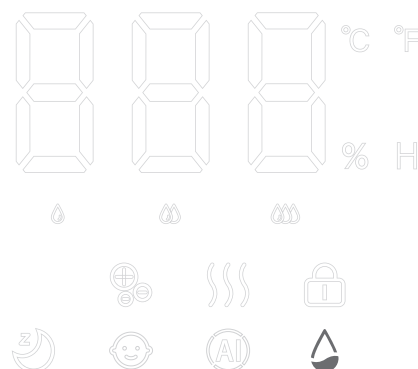
長押し

水がなくなる時

■ 水タンクに給水する

- 水タンクの水がなくなると、加湿を停止して、給水表示ランプ「」が点灯します。表示パネルと操作パネルが消灯して、電源がシャットダウンします。
- 水タンクに給水し、電源を入れて加湿を再開します。(→9 ページ参照)

※必ず電源を切って給水を行ってください。



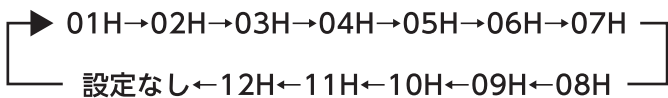
使いかた

タイマー機能

■ 切タイマーを設定 / キャンセルする

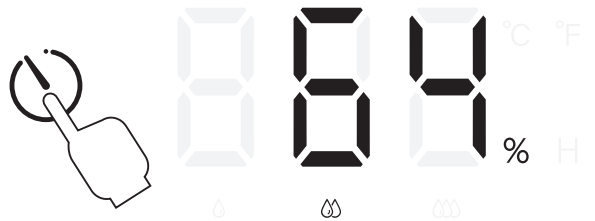
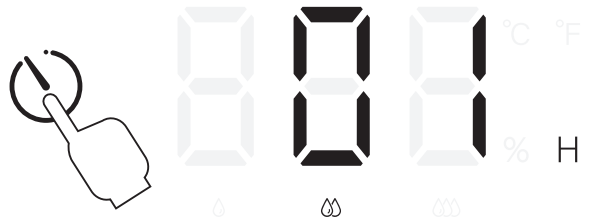
- 本体またはリモコンのタイマーボタン「🕒」を押して切タイマーの設定ができます。

※運転中にタイマーボタンを押すごとに「01H→02H→03H→04H→05H→06H→07H→08H→09H→10H→11H→12H→設定なし→…」の順番で12の異なる自動シャットダウン時間の調整ができます。



- 本体またはリモコンのタイマーボタン「🕒」を何度か押して、表示パネルに環境湿度が表示されたら、切タイマーがキャンセルされます。

※運転中にタイマーボタンを押すと、残り時間が表示されます。再度押すと、自動シャットダウン時間の変更が行えます。



イオン機能

■ イオンを発生 / 停止する

- 本体またはリモコンのイオンボタン「⊕⊖」を押すと、イオンを発生します。再度押すと、イオンを停止します。



チャイルドロック機能

■ 操作をロック / ロック解除する


- 本体またはリモコンのロックボタン「🔒」を約5秒間長押しすると、操作パネルがロックされて作動できなくなります。再度長押しすると、操作パネルのロックは解除します。



使いかた

ヒーター機能

■ ヒーターを作動 / 停止する

- 本体またはリモコンのヒーターボタン「」を押すと、ヒーターが作動されます。再度押すと、ヒーターは停止します。

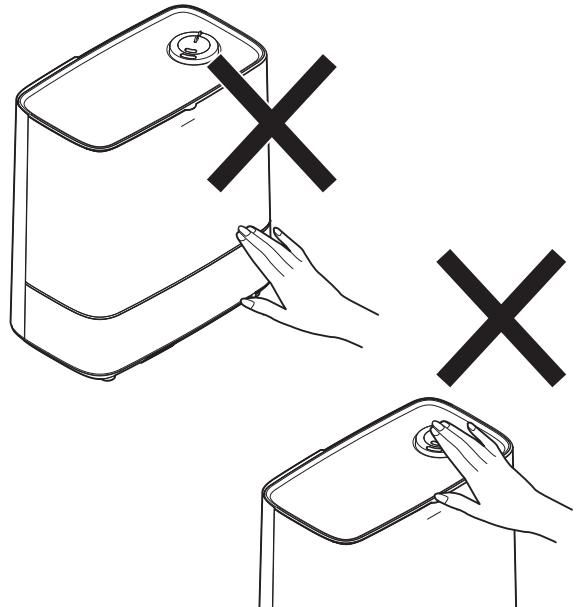
※ヒーター作動中に水が加熱され、ミストがより出やすくなります。また、水の中に含まれる菌の繁殖を抑えます。

※ヒーター作動中や停止直後はミスト吹出口などの高温部に触れないでください。やけどの原因になります。




注意

- ヒーターによってあたためられた水が噴霧されますが、暖房器具のようにお部屋をあたためるものではありません。
- ご使用になるお部屋の温度や水の温度によって、水があたたまるまでに時間がかかる場合があります。
- ヒーター作動中には本体があたたかくなりますが、故障ではありません。
- ヒーター機能は単独での運転はできません。



温度表示機能

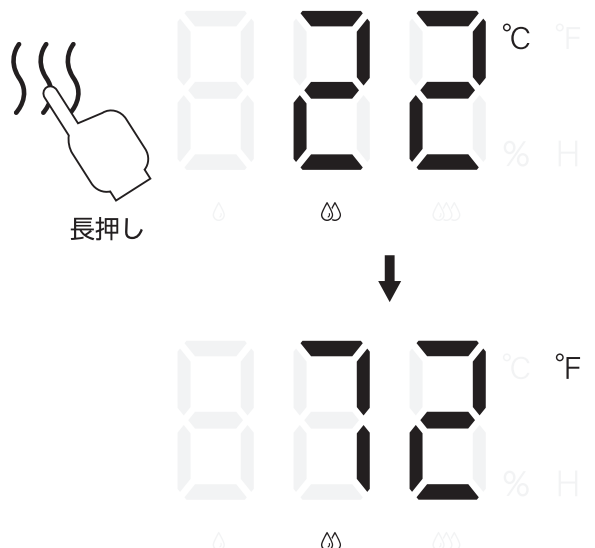
■ 温度表示単位を変換する

- 本体またはリモコンのヒーターボタン「」を約5秒間長押しすると、温度表示単位「°C」を「°F」に変換されます。



注意

- 本製品の温度表示は目安であり、市販の専用温度計の計測と比べて多少誤差があります。
- 使用環境によって、温度表示が異なる場合があります。



使いかた

アロマオイルの使いかた

■ アロマオイルを染み込ませる

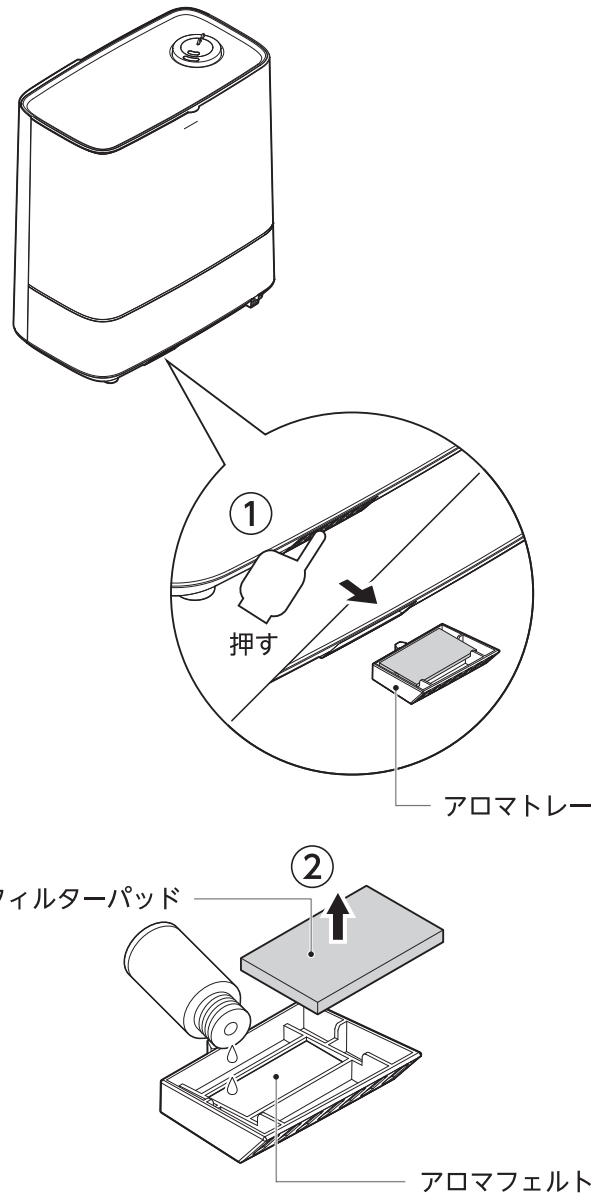
①本体底部にあるアロマトレーを押すと引き出されます。

②まずフィルターパッド(黒)を取り出し、市販のアロマオイルを下のアロマフェルト(白)に2～3滴たらしめて染み込ませます。

※取り扱いについては、アロマオイルに付属する取扱説明書をご覧ください。

※必ずアロマフェルトのみにアロマオイルを染み込ませてください。

※アロマフェルトに染み込ませるときこぼれないようご注意ください。



注意

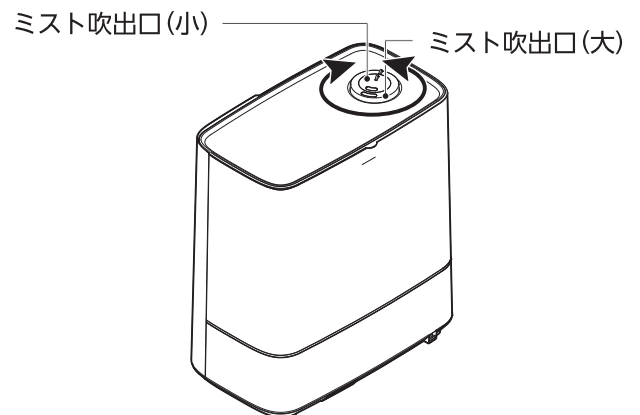
- 水タンクや本体に直接アロマオイルを入れないでください。
- アロマオイルが本体や水タンクなどに付着しないように注意してください。※製品が変形・故障して水漏れなどの原因になります。
- 妊娠中の女性・乳幼児・身体の弱い方などがある場合は、アロマオイルの使用量・使用方法に注意してください。

ミスト吹出口の方向調節

■ ミスト吹出口を回転する

●吹出口は大・小ともに、360°回転して、吹き出しの方向を変えることができます。

※加湿器の置き場所によって、大・小ともに同じ方向に向けたり、別々な方向へ向けたりして加湿する向きを調節してください。



お手入れと保管

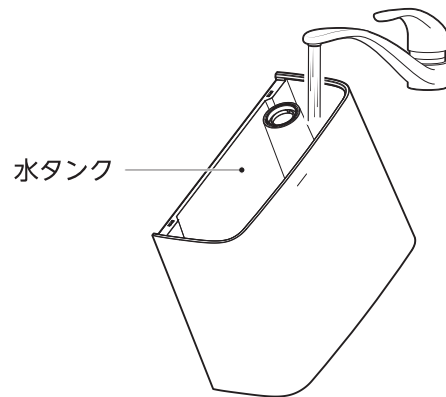


- お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
→感電・火災・けがの原因になります。
- シンナー、ベンジン、アルコール、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。
- 本体に水をかけて洗わないでください。
→感電・故障の原因になります。

水タンクのお手入れ

■ 水洗いを行う

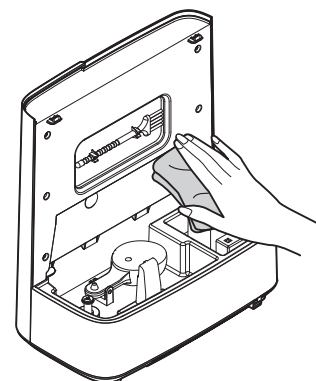
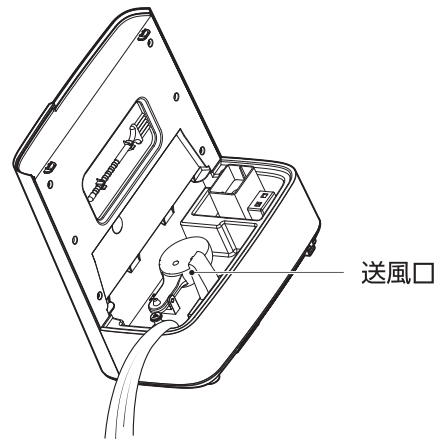
- 給水カバーを取り外し、水タンクを取り出して、残量水を捨てて、流水で洗います。
- ※汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗った後は、洗剤分が残らないようにしっかりすすいでください。
- ※お手入れ後に水タンクをセットするときは、水タンク底面が本体側の凹凸部にはまるように位置を合わせてセットしてください。



本体のお手入れ

■ 布で軽く拭く

- 給水カバー・水タンクを取り外します。
- 本体水槽内に残っている水を排水します。
- ※送風口から水が本体内部に入り込まないようにご注意ください。
- やわらかい布で軽く拭きます。
- ※強くこすらないでください。キズつきの原因となることがあります。
- ※水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いは絶対にしないでください。

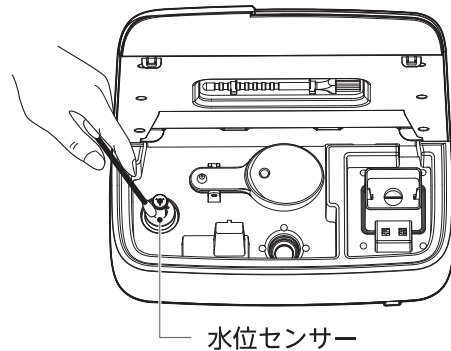


お手入れと保管

水位センサーのお手入れ

■ 水位センサーのお手入れ

- 水位センサーのフロートがスムーズに動くことを確認してください。
- 水位センサーのフロートがスムーズに動かない場合は、綿棒などでまわりのごみを取り除いてください。

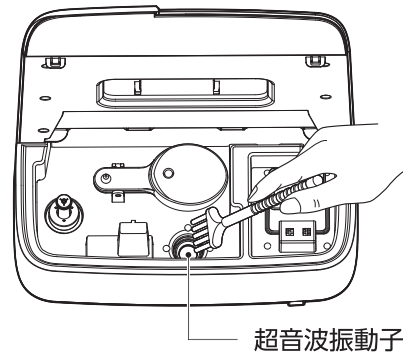


水位センサー

超音波振動子のお手入れ

■ 超音波振動子のお手入れ

- 超音波振動子は、付属品のブラシでやさしく掃除してください。
- ※超音波振動子に汚れや傷が付くと、加湿量が低下したり、加湿しなくなったりします。

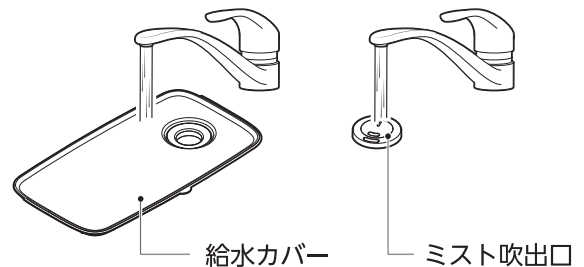


超音波振動子

給水カバーのお手入れ

■ 水洗いを行う

- ミスト吹出口を給水カバーから取り外し、水洗いを行います。
- ※汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗った後は、洗剤分が残らないようにしっかりすすいでください。



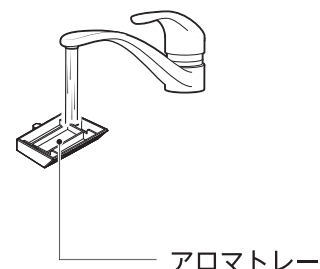
給水カバー

ミスト吹出口

アロマトレイのお手入れ

■ 水洗いを行う

- フィルターパッドとアロマフェルトをアロマトレイから取り外し、水洗いを行います。
- ※アロマトレイのお手入れは使用後に毎回行ってください。

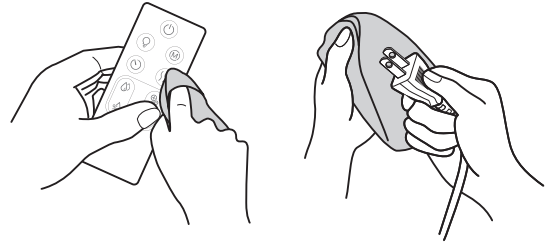


アロマトレイ

お手入れと保管

リモコン・電源プラグのお手入れ

■ 定期的にかわいた布で拭き取る



保管・廃棄のしかた

■ 保管のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、直射日光を避け、湿気のない場所に保存してください。
- 長期保存をするときは、リモコンから電池を抜いておいてください。

■ 廃棄のしかた

- 自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。

製品の仕様

※製品の仕様は予告なく変更することがあります。

定格電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	235W(最大)
本体寸法	約W28.4*D16.5*H31.8cm
タンク容量	約5000ml
本体重量	約2.42kg
電源コード長さ	約1.2m
主要材質	ABS、AS、PP
加湿能力	約250ml/H(温ミスト:約420ml/H)
騒音値	≤45dB
生産国	中国

故障かな？と思ったら

●修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みになり次の項目をチェックしてください。

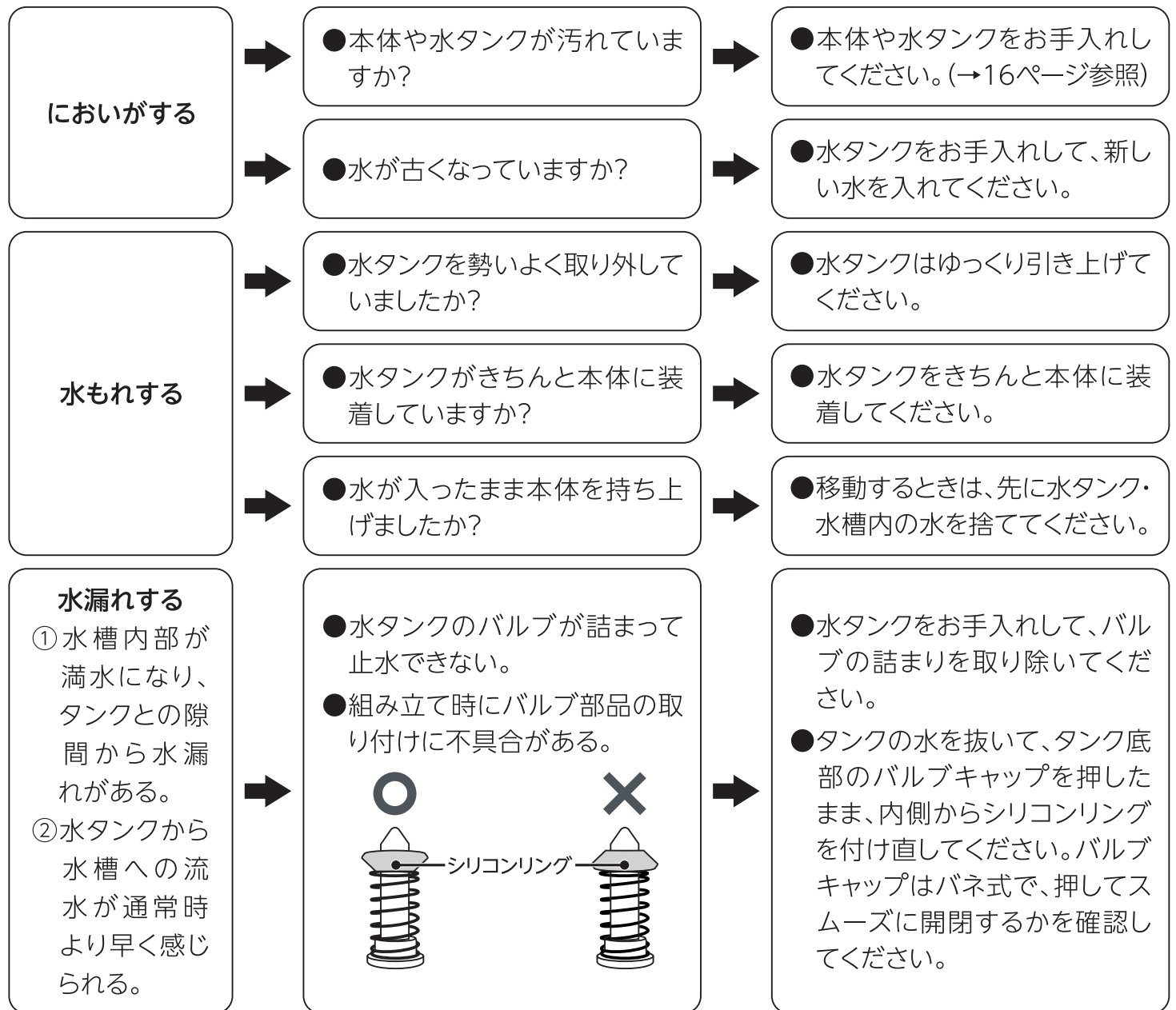


警告

お客様ご自身で修理、改造することは絶対にしないでください。

状態	考えられる原因	処置
電源が入らない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
加湿されない ※給水表示ランプが点灯	●水タンクの水を使い切っていますか？	●水タンクに給水して、再度電源を入れてください。
	●水位センサーにごみがつまって動かないですか？	●水位センサーを掃除してください。(→17ページ参照)
加湿されない	●目標湿度に達していましたか？	●目標湿度に達したときは加湿を停止し、目標湿度を下回ると加湿を再開します。
ミスト量が少なくなった	●超音波振動子が汚れていますか？	●付属品のブラシなどで、超音波振動子を掃除してください。(→17ページ参照)
水タンク照明が消えている	●おやすみモードになっていますか？	●どのボタンを押しても、おやすみモードは解除されます。
	●水タンク照明が消灯になっていますか？	●モードボタンを約5秒間長押しして、水タンク照明が点灯されます。
表示パネルに表示されない	●おやすみモードになっていますか？	●どのボタンを押しても、おやすみモードは解除されます。
湿度が上がらない	●部屋が広すぎますか？	●より適切な環境面積で使用してください。
	●窓やドアが開いていますか？	●窓やドアを閉めて使用してください。

故障かな？と思ったら



長期使用上のご注意

■ このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 本体に触れるとピリピリ電気を感ずる。
- 水もれする。
- 電源コードが傷ついている。
- その他の異常・故障がある。

→ご使用中に故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

保証書

■ この度は、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- 弊社で販売する「保証書」対象商品にて、納品日から下記の保証期間内に取扱説明書に準じた使用で故障等の不具合が生じた場合に、本書の保証書により製品本体に限り部品交換・商品交換・返品の対応をさせていただきます。それ以外の保証（設置工事代金・送料等）は適用外となります。お買い上げ販売店に依頼の上、修理の際に本書をご提示ください。

品名（品番）	ハイブリッド式加湿器（XR-HT52）	お客様	住所 〒
保証期間	納品日より1年間		名前
納品年月日	年 月 日		TEL ☎

保証規約

■ 初期不良

- 商品到着後7営業日以内に、届いた商品に不良がないか確認をお願いいたします。万が一の場合は、お買い上げ販売店・修理申出先又は下記の輸入元までご連絡ください。送料は往復とも弊社が負担します。
- 商品到着から8営業日以上経過している場合は初期不良の対応をいたしかねます。商品のご返品およびご返金には応じ兼ねますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

■ 無償修理

- 商品納入日から記載の保証期間となります。保証期間内に商品の瑕疵により取扱説明書に準じた使用で故障等の不具合が生じた場合、お買い上げ販売店・修理申出先又は下記の輸入元に無償で修理、部品交換を承ります。送料は往復ともお客様負担となります。
- 修理不可能な場合は、商品のお取替えを致します。生産終了等によりご用意できない場合は、代替品で承ることがあります。

■ 有償修理

- 商品納入日から保証期間を過ぎた場合は有償修理を承ります。送料は往復ともお客様負担となります。お買い上げ販売店又は下記の輸入元へお問い合わせください。

■ 保証対象は本商品及びその付属品となります。オプション品、サービス品は対象外です。

■ 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店にご依頼ください。

■ 運賃などの諸経費は、原則としてお客様にてご負担願います。お客様宅への出張修理はお断りしておりますので、予めご了承ください。

■ 保証の適用に当たっては、故障や不具合が生じた際の使用状況のお伺い、画像の提供などお願いすることがあります。

■ 修理中の代替品のご提供は行いませんので、予めご了承ください。

■ 保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

■ 以下のような場合等は保証期間内でも対象外となります。予めご了承ください。

- 商品お届け後の移動・輸送・転倒・落下・接触等による故障及び損傷
- 取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかったことが原因による故障及び損傷
- 定期的なお手入れの怠りによる故障及び損傷
- 不当な設置場所での使用による故障及び損傷
- 本商品の目的以外での使用、過酷な条件下での使用による故障及び損傷
- 使用上の誤りや、お客様による修理または改造が認められる商品の故障及び損傷
- 一般家庭以外（例えば、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
- 本商品以外の機器に起因する故障及び損傷
- 火災、地震、水害、その他の天災地変、公害や異常電圧など本商品以外の原因による故障及び損傷
- 保証書の提示がない場合、購入日の確認が取れない場合
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合

■ 免責事項

- 取扱説明書の記載誤りなどについては保証の対象外となります。
- 本製品のご使用又は使用外から生じる付随的な損害（記録、再生に要した諸経費及び記録、再生により得られなかった事業の利益損失、データの損失、中断等を含む）に対し、弊社は一切の責任を負えません。

■ 保証書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

- 保証書は明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

TAKASYOU 輸入元
株式会社 高昇

<https://takasyou.jp/>

ご不明の場合のご相談は、お買い上げ販売店・修理申出先又は輸入元へお問い合わせください。

